

# ひょうご

412

MIN-IREN

2023.7・8  
合併号



- ①赤崎 美波 (あかさき みなみ)
- ②兵庫県出身 兵庫医科大学
- ③中学生の時に「マドゥーの地で(貫戸朋子著)」を読んだことがきっかけです。国境なき医師団として派遣された医師の話で、自分もこんなふうにいる人に手を差し伸べられる人間になりたいと思ったからです。
- ④貫戸朋子(かんとともこ)医師。
- ⑤③と同じ。

- ①山本 勇輔 (やまもと ゆうすけ)
- ②兵庫県出身 鳥取大学
- ③特にはないです
- ④アンパンマン
- ⑤愛と勇気を教わりました

- ①岡 哲斗 (おかてつと)
- ②兵庫県出身 香川大学
- ③2つあって自分が幼少期の頃アトピー性皮膚炎で皮膚科にお世話になっていたことと、身近な人が亡くなったことがきっかけです。もともと教師や医師が向いてるなって思っていて学問的に興味の惹かれる医学部に進学しました。
- ④影響を受けた人物としては祖母が亡くなったときにすごくショックを受けてしまい気持ちが病んでいた時がありました。今はまわりの人に支えられて元気にやっています。関わる人が増えるとその分考え方も洗練されるので、これからもいろいろ挑戦していきたいです。
- ⑤④と同じ。

⑩氏名 ⑪出身地・出身大学 ⑫医師を目指したきっかけ、または出来事  
⑬人生で影響を受けた人物、またはイベント ⑭その理由

## 2023年度 新入医師紹介

2023年度兵庫民医連の初期研修医は3名が入職し、尼崎医療生協病院に赤崎美波医師、山本勇輔医師、岡哲斗医師が着任しました。

赤崎医師と山本医師は兵庫民医連の奨学生として、医学生の時分から尼崎医療生協病院や兵庫民医連の事業所での実習や県連奨学生の企画にも参加。

岡医師は香川大学医学部出身で、総合診療プログラム専攻医の青木岳喜医師や玉野敦弘医師の後輩にあたり尼崎医療生協病院の実習に参加し、研修先として決めてくれました。1年目の秋からは各科の研修で尼崎医療生協病院以外の病院・診療所もローテートする予定です。

みなさんよろしく願いいたします。

## 事業所・職場紹介

輝いています！

# これからも地域に寄り添い・ 貢献できる事業所をめざして



社会福祉法人虹の会 福祉用具レンタルサービスさぼーと 所長 中田 雄二

福祉用具レンタルサービスさぼーと(以下、さぼーと)は、ご利用者様お一人お一人に合った、安心・安全・快適な環境を提供するための特定福祉用具のレンタル・販売、住宅改修工事、介護用品・おむつ等の販売を行っている介護事業所です。



当事業所は、2004年1月に「社会福祉法人虹の会」の事業所として営業をスタート、今年で20年目を迎えました。開所当初のご利用者様は40件程度で赤字が続く苦しい事業運営でしたが、1年後に介護タクシー事業を運営していた「有限会社虹のサービス」に事業を移管。移管後は徐々に実績を積み重ね、2015年6月より再び「社会福祉法人虹の会」に事業を移管しました。開所当初2名でスタート

した従業員は、専門相談員4名、事務1名(2023年6月現在)で介護保険外も含めて利用者件数500件/月以上、年間9,000万を超える事業収益を計上する事業所として発展してきました。

一方、福祉用具レンタル事業は年々情勢が厳しくなっており、レンタル商品の上限価格の設定や全国平均レンタル価格の公表に伴い、他社との価格競争がますます激しくなっています。また関連事業所も市内に多数あることから、ご利用者様や居宅介護支援事業所からの視点も価格やサービスに対して厳しいものになっており、ここ数年は利用件数・収益ともにほぼ横ばいになっています。

そんな中でも多数あるレンタル事業所の中からさぼーとを選んでいただくために、サービス



の差別化を図れるよう日々努力しています。その中の一つとして、ご利用者様やケアマネジャーからの急な依頼(納品・引き上げ・配置換え・モニタリング等)に素早く対応するために、また時には引越しの手伝いや部屋の掃除・ゴミの廃棄など様々な要望や依頼に対処するため委託業者やメーカーとの連携も密に行っています。さらに、ご利用者様が利用する商品の選択肢ができるだけ広がるよう、複数のデモ商品を用意しながらその場で最適な福祉用具の選択とフィッティングができるように工夫をしています。

さぼーとの事業目的は、ご利用者様の身体の状態、ご家族様の諸事情や介護負担、自宅および近隣地域の環境などを考慮し、その人にあった福祉用具を提供することで安心・安全・快適に自立した生活がおくれるよう地域社会に貢献することです。

これからもさぼーと職員一同は日々の努力を怠らず、ご利用者様・ご家族に寄り添いながら地域社会に貢献できるサービスを提供していきたいと考えています。

事業所の窓から～歴史と地域紹介～

社会福祉法人虹の会

## チャリの楽園

09

## 尼ロック=国内で唯一の 稼働する“こうもんパナマ式閘門”

尼崎市は縄文時代には現在の阪急沿線まで海でした。その海が陸地化し、現在の地形になったのは市南部の埋め立てが進んだ昭和になってからです。そしてその埋め立て地を含んでできた尼崎市は高低差が10mとほとんど平坦な地形であり、市の中心部から東西南北それぞれ5km程度ととてもコンパクトな市街地で、市民の日常の足として利用する自転車が非常に多い街(チャリの楽園)です。虹の会の訪問介護の職員も、尼崎市内を端から端まで自転車に乗ってご利用者様のお宅へ伺っています。施設をはじめ他の事業所の職員の多くも自転車で通勤しています。

「尼っこリンリンロード」※と呼ばれるサイクリングコースを使って尼崎市中心部から南へ40分程走ると、工場地帯を抜け尼崎運河と呼ばれる全長6.9kmの水路が見えてきます。



▲自転車ゾーン

### ●尼崎運河

尼崎運河は、立ち並ぶ多くの工場へ届けられる材料や搬出される製品の運搬として、物流の重要な役割を担っています。高度成長期、臨海部の大気汚染やヘド口で茶色く濁った海だったと思えないほど、今では澄んだ青空や吹き抜ける風が心地よく、運河の水面はキラキラと光っていました。



▲運河に架かるであい橋

運河に沿った遊歩道を自転車で走ると、水質浄化の施設やパドルボートの発着場、ジャングルジムのようなモニュメントの橋「であい橋」など、尼崎運河は散策も楽しみ



る場所となっています。そして遊歩道を先に進むと、尼崎閘門(通称ニロック)と呼ばれる水門が見えてきます。

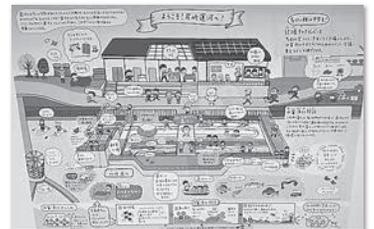
### ●ニロック

市域の3分の1が海面より低いゼロメートル地帯の尼崎は、台風などの水害や高潮対策のため海岸と河川沿いに防潮堤を設けており、閘門により船の通航も可能にしています。

レオナルド・ダ・ヴィンチが考案したとされ、パナマ運河にも使われる「観音開き式」が採用されており、500トン級の船舶が通航できる巨大な尼崎閘門は、全国で唯一実際に稼働している「パナマ式閘門」です。

2つの水門を開閉することで海と運河で高さの違う水位を調節して船舶を通航させ、尼崎の「ゼロメートル地帯」に海の水が流れ込むのを防いでいます。また、雨が降ったら運河の水を防潮堤の外へ排水する大きなポンプ場を隣接していて、高潮や洪水の水害から市民を守る役割をしています。

尼崎閘門は国土交通省神戸運輸管理の施設で一般開放はしておらず、団体の見学は事前予約が必要です。休日にエコで手軽な自転車に乗って、いつもと違う尼崎ならではの場所を散策してみてもいかがでしょうか。



▲尼崎運河案内板

※尼っこリンリンロード…阪神尼崎駅～蓬川緑地～であい橋～ニロック～スポーツの森～魚つり公園などをめぐる全長11kmのサイクリングロード

# 2023 新入職員研修 民医連の歴史と理念(民医連綱領)を学ぶ

4月14日(金)、神戸ポートアイランドにあるアリストンホテルにて、新入職員研修が開催されました。今年3年ぶりに集合研修で開催し、県内の事業所から87名の職員が参加しました。

研修の獲得目標は、1) 民医連の歴史と理念(民医連綱領)を学ぶ 2) 民医連とはどういう組織なのか、誰のために何を目標としているのか、医療・介護の従事者として患者様や利用者様に対する民医連職員としての目的と構えを学ぶ 3) 法人や職種の枠を超えた仲間づくりと多職種によるチームワークを体験する の3点です。

研修会は黒岩委員長(県連教育委員会)のあいさつから始まり、午前中は仁田事務局長(兵庫民医連)を講師に、今回の獲得目標の一つの民医連の組織と民医連職員の構えについて学びました。午後からはグループワークで午

前の講義を踏まえ、「兵庫民医連を紹介しよう」をテーマに15グループに分かれて壁新聞を作成しました。最初はぎこちなさもありましたが、どのグルー



プも全員で意見を出しあい全体的に想定以上の出来上がりとなりました。

午後からは大澤県連会長から新入職員にエールが送られ、さらにサプライズ企画として新入職員が3年後の自分あてにレターを書いたり、1日だけの研修会でしたが県連内の仲間とつながりができ、内容と共に充実した一日となりました。



## 感想文より

グループごとに違う着眼点があり、自分にはない考えを知れてよかったです。 **管理栄養士**

グループの役割を決める中で、相手の人間性を見極めて適材適所に進めることの難しさもありましたが、講義だけでは理解が及ばなかったことも自ら調べることが理解を深めることができたと思います。 **事務**

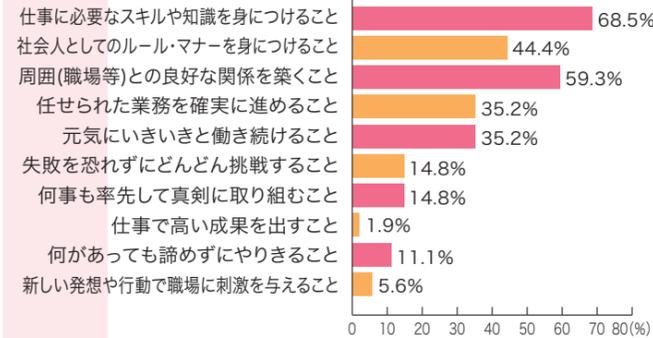
介護士として始まったばかりだけど、地域の方々に貢献できるように成長したいと思いました。 **介護職員**

誰に何を伝えたいのかを明確にすることで、新聞の内容が大きく変わりレイアウトも変わるとわかり、同じメッセージを伝えようとしても相手のことを考えて作ったら内容が大きく変わるのだなと思いました。また、初めましての人と共同作業をすることで距離感が近くなった感じがしました。 **看護師**

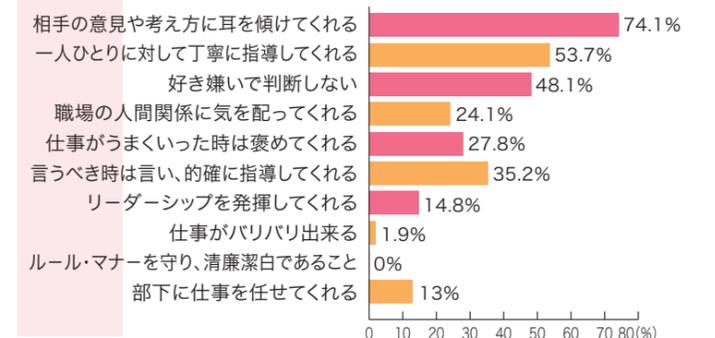
民医連の歴史は日本の民主主義の歴史なのだと思います。先輩方が弾圧などを乗り越えて手に入れた私達の権利を、子の世代に繋ぐのが私達の使命であると再認識しました。 **医師**

## 2023年度 新入職員アンケート

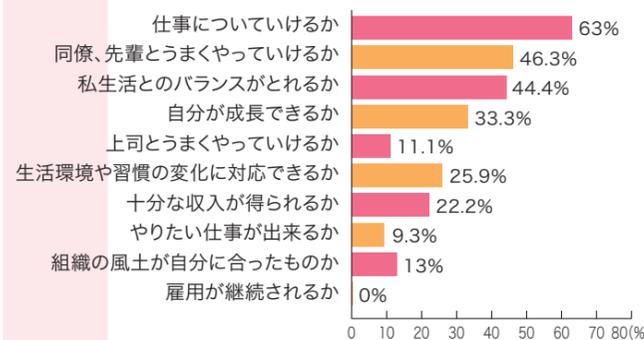
### あなたが社会人として働いていく上で大切にしたいことは何ですか？



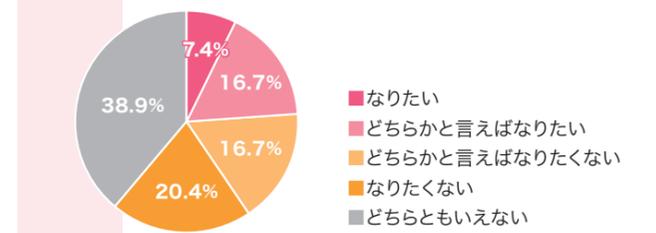
### あなたが上司に期待することは何ですか？



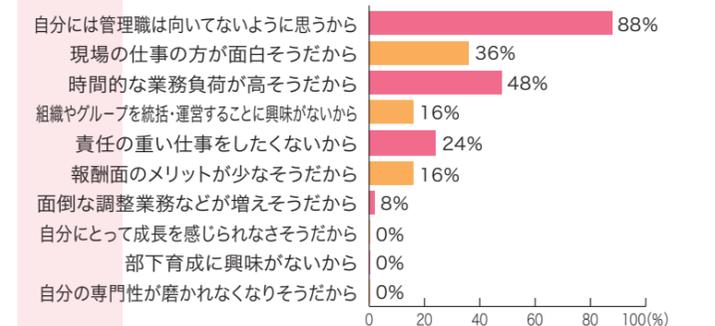
### あなたが仕事、職場生活をする上で不安に思っていることは何ですか？



### あなたは管理職(組織やグループを統括・運営する立場)にどれくらいなりたいですか？

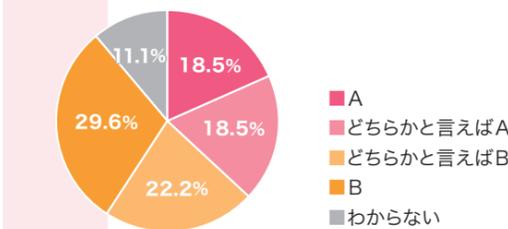


管理職(組織やグループを統括・運営する立場)に「なりたくない」「どちらかと言えばなりたくない」と回答した方にお聞きします。なりたくない理由を選んでください。



### あなたの考えにより近いのは、A・Bどちらですか？

[A] 定年まで今のところで勤めたい  
[B] 今のところで勤め続けることにこだわりはない



新入職員研修に参加された87名のうち54名の方から回答をいただきました。(回収率62%) 研修から2ヵ月が過ぎましたが、新入職員のみなさん元気にお過ごしですか？

職場のみなさんもアンケート結果を参考にして、職場づくりに活かしてください。

生存権 No.172

# 地域全体でいのちをつなぐ 認知症があり経済的困窮にある 高齢者夫婦の生活をサポートして

兵庫民医連 看護委員会

A氏 80代男性  
疾患：うっ血性心不全  
既往歴：心房細動、高血圧  
介護度：要支援1

B氏 80代女性 内縁の妻  
疾患：2型糖尿病、末梢神経障害  
既往歴：軽度知的障害  
介護度：要介護1

## 経済状況

A氏、B氏共に生活保護受給 住宅費を差し引き2人での生活費が約12万/月。

## 家族構成

2人の息子と1人の娘がいるがいずれも知的障害があり、それぞれ施設入所等にて別居中。  
意思決定支援者はケアマネジャー。

## 経過

A氏は上記疾患にて診療所に通院していましたが、X年から通院内服を中断、5年振りに受診となりました。

血圧180台と高値でしたが内服管理が困難で、通所デイへの通所拒否が続きADLも低下しました。清潔が保持出来ず認知症も悪化して、1年後に診療所の訪問診療が開始となりました。病状観察、内服管理、保清、介護指導、相談、緊急時対応を行っていました。

B氏も夫の訪問診療に伴い、同時に診療所からの訪問診療が開始されました。以前より金銭管理が困難でしたが、安心サポートセンター等の活用は拒否されていました。訪問診療開始後1年が経った頃より、B氏の短期記憶低下がさらに進行しました。電話も止められ、自炊や筋力の低下に伴いスーパーでの買い物も困難となり、近くのコンビニや飲食店の弁当、ビールなどを購入することで生活費が枯渇

し、砂糖水を飲んでやり過ごす状態になりました。訪問看護師がケアマネジャーへ経済状況を報告し、区の生活保護担当者へ生活費の前借などの可能性がないか問い合わせを依頼しました。そして、緊急対応として訪問看護ステーション内にあった、高カロリーの経口補助食品や補水液などを提供しました。診療所からは栄養の確保をするために高カロリー栄養剤を処方し、所内にあるリハビリパンツ、オムツなどの衛生物品を提供しました。また、法人内の病院で備蓄品の入れ替え時期であるとの情報を得て、備蓄食の多量提供を受ける事ができました。

生活を立て直すため両者のレスパイト入院を計画していましたが、A氏が心筋梗塞で法人外の病院に緊急入院となったことでB氏の認知症が更に悪化、徘徊を繰り返して転倒し法人内の病院に入院となりました。その後A氏も法人内の病院に転院となったので、本人達を交えて在宅に向けた退院前カンファレンスを訪問看護師、ケアマネジャー、病棟看護師で実施しました。その中で、金銭管理は安心サポートセンターが行うこと。介護保険の区分変更を行うこと。ヘルパー導入を増やすことを決定し、約1か月後に2人揃っての退院となりました。

## まとめ

全ての課題が解決できて自宅での生活が安定したわけではありませんが、フォーマルな資源のみならず可能な限りインフォーマルな資源も導入し、今後も地域全体でいのちをつなぐ取り組みを実践していきたいと思います。

## 新事務局員着任のお知らせ



長谷川 佳悟さん

6月1日付けで神戸協同病院・医療業務課外来係より兵庫民医連事務局へ出向・着任致しました、長谷川佳悟と申します。入職は令和2年4月で最初の配属先は生協なでしこ歯科でした。この度患者様と直接相対しない初めての業務ということで慣れない環境に戸惑いを覚えておりますが、ここで新たな経験を積み民医連綱領の掲げる「無差別・平等の医療と福祉」を勝ち取る為に邁進していきたい所存で御座います。

謹んでよろしくお願い申し上げます。

### 読者の声

●姫路医療生協の体験する『班会学校』は、サービス内容の理解につながるいい体験だと思います。事業所では在宅看取りを希望される方が増えており、在宅医との連携強化に取り組んでいます。兵庫民医連ニュースは様々な特集記事が多く、とても勉強になります。

ペンネーム さくら

●新入職員研修スタート⇒毎年この時期になると自分も襟を正す気持ちになります！花壇へ花や野菜を植えています。最近では甘いイチゴが実り、利用者さんと一緒に赤い実を見つけてはつまみ食いしてます（笑）。近畿地方も梅雨に入りました。去年より8日早く5月中に梅雨入りしたのは10年振りとか…。恵みの雨ですが、自然災害のないように祈りたいです。

ペンネーム タタ

●生存権記事の〈その人らしい『生き方』を最期まで支える〉いつ最期が来ても身内が困らないように、準備をして希望を伝えておかななくてはと思いました。自転車のヘルメット努力義務化になり早々にヘルメットを購入しましたが、かぶっている人をあまり見かけないのでまだ一度もかぶっていません。

ペンネーム ゆ〜ちゃん

●駒どりの郷のことはどんな様子か知らなかったので、家族会もあるなど知れて興味深かったです。

ペンネーム ポコ ア ブー子

●4月に末娘が中学に入学。神戸市の取り組みの拠点校部活動に入り、拠点校先の高校生と一緒に水泳の練習をさせてもらっています。高校生との練習はハードですが、スイミングスクール以上の練習量で楽しんでいます。親の知らない世界で子どもが頑張っていると思うとすごいなあと思います。

ペンネーム トミー

●「読者の声」は、読んでいて面白い身近に感じます。職場の様子などわかれば嬉しいです。コロナが5類に変わってマスクなしの人も増えてきました。夏の暑いときにマスクをするのが苦しかったので少しやれやれ、でもコロナの後遺症に悩んでいる人が多いとニュースで言っていました。それにどのように対応したらいいのか具体的に知りたいです。

ペンネーム オバオバちゃん

●連載「事業所の窓から」いつも楽しみに拝見しております。今回は、白川の地名や事業所名にそんな歴史があるとはなかなか興味深い内容でした。自分の事業所や地域名の由来にどんな歴史があるのか一度調べてみたくなりました。プライベートでは、近頃セダンの乗り降りがしんどくなってきた年頃、ちやう年寄りになってきたのでSUVを購入しました(^.^)V。

ペンネーム ヒデキ還暦

## まちがいさがし 7・8月

正解者のうち5名の方に  
図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田 求

### 【応募のきまり】

〈締切〉2023年8月10日（木）◇当選者は2023年9・10月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名（投稿はペンネームでも可）、院所名（職場・職種）、OBの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7  
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

\*余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

5・6月号の応募者は18名で全員正解でした。右記の5名の方に図書カードを進呈。

- ①伊藤 由香（訪香あじさい）
- ②トミー（ペンネーム）
- ③ゆ〜ちゃん（ペンネーム）
- ④ぜん（ペンネーム）
- ⑤谷 茜（神戸協同病院）

5・6月号  
の答え



# 法人 topics

## 神戸健康共和国

本部 組織部

相野 早紀さん

事務



連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

### 入職したきっかけ

大学では福祉について学んでおり、福祉に関係するところで働きたいと思っていたところ、神戸健康共和国の「地域住民と助け合って病院を支えているところ」「無料低額診療事業制度を活用して誰でも医療を受けられるように取り組んでいるところ」にとても共感し、ここで働きたいと思い入職しました。

### 仕事でのこだわり、民医連で働き続ける理由

2020年8月より、本部 組織部に異動して、組合員さんと関わる機会が増えました。組合員さんと関わる機会が増えたことで地域に出ることも増え、地域の特性や地域住民の要求なども見えてきました。「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」を目指して、組合員さんの声を聞き、要求に応えていきたいと思っています。

### プライベート

ずっと習いたいと思っていた「三線」を昨年の夏から始めました！東神戸医療互助組合の「三線同好会」で組合員さんと楽しく月1回三線を習っています。まだまだ弾ける曲は少ないですが、少しずつ発表する場も作っていただき、さらに練習を頑張ろうと日々奮闘中です！



## 神戸健康共和国 “コード・グリーン”でクリーンな地域に

神戸健康共和国 遠山 治彦

病院の近所のコンビニ店員さんが歩道や道路の掃除をされていましたが、コロナ感染で営業休止している間に吸い殻やゴミが路上に目立つようになりました。コンビニ店員さんが地域の環境美化に果たしてきた役割の大きさに気づいた院長の呼びかけで、病院の社会貢献活動として「コード・グリーン」を立ち上げ、今年1月から月一回のペースで、病院周辺の吸い殻拾いを始めました。



吸い殻拾い中

毎回10人ほどの職員と互助組合員が参加し、500～900本もの吸い殻が集まります。続けているうちに、近隣にお住まいの方々も手伝ってくださるなど輪が広がっています。

この活動を通して職員・近隣住民がコミュニケーションを深め、病院周辺の地域や人を知るきっかけとなっています。また、タバコを吸う患者さんや職員のマナー向上も期待できます。

コロナ禍で内に籠もりがちでしたが、どんどん地域に出て社会貢献する取り組みが広がりつつあります。



※「コード・グリーン」とは？…救急対応を要する事態「コード・ブルー」をもじって、自然環境に配慮した活動を進めようと命名しました。